

昨年も大好評！上智大現役講師の英語の授業が函館に！

体験授業の雰囲気は終始圧倒された。
「英語は日本語ではないから訳す必要がある」という考え方を
根底から否定した、音で覚える英語の素晴らしさを知ることが出来た。
(七飯高校・3年生/前回参加した感想より)

▶ 前回開催(二〇二二夏)のようす



「発音最優先」の活動と、
パワポを使ったオリジナル教材で文法導入を簡単にわかりやすく。

英語教員を目指す 函教大生に贈る授業

講師：北原延晃 (きたはらのぶあき)

上智大学文学部英文学科・愛知淑徳大学交流文化学部 非常勤講師

7月26日(水)

第一部14:40-16:10

第二部16:20-17:50

北海道教育大学函館校多目的ホールにて
参加費無料

※第一部と第二部両方/片方の参加でも構いません。
開場時間は、各講義開始時間の10分前です。
申し込みは不要です。



「発音」活動と「文法」導入で、生徒をトリコに。

英語教員を目指す 函教大生に贈る授業

どんなことをしますか？

※昨年度に函館アリーナで開催したようす（撮影：吉井）

教職志望大学生向け

14:40-16:10 オリジナル教材を使って 時短！新出文法の導入

Part 1

昨年の内容は、教科書本文の内容を扱う北原メソッドBパターンでしたが、今年は、Aパターンである「新出文法の導入とその練習」を扱います。また、中学1年生の4月に必ず行う①アルファベットカードを使ったアルファベットの文字と音の導入②動詞句のインプットを図るアクションカードの実演を行います。毎年、上智大生が度肝を抜かれる内容です。今回は、菅原准教授の「中等英語科教育法Ⅰ」の時間を使い、公開授業の位置付けで行います。教育実習に行く学生や、英語教育に新たな視点を取り入れたい学生の参加も歓迎しています。

一般・学生自由参加


16:20-17:50 実際に授業を体験！ 授業で育てる「聞き取る耳」

Part 2

「音から離れない」北原メソッドを具現する中学1年入門期の活動を2つやろうと思います。①アルファベットカード、アクションカードを使った活動と②昨年、今年、発売したばかりのリーディング教材「じゃれマガカルチャー」スピーキング教材「わくわくパーク」文法導入教材「わくわくナルホド英文法」3つの教材を使って北原講師が先生となって、皆さまが生徒となって、実際に授業を体験していただくことができます。教育大学の学生のみならず、現職教員の方々などのご参加もお待ちしています。

講師紹介

北原延晃（きたはらのぶあき）



元港区立赤坂中学校主任教諭。「生徒に楽しく学習させたい。ムダな勉強はさせたくない。教師も楽しく教えたい。教師は教えすぎず、生徒が自分で調べたり、友だちと考えたりする時間を作りたい。赤ちゃんがことばを覚える過程を大事にしたい」をモットーに英語授業を展開。文部科学省中学校英語検定教科書『Sunshine English Course』（開隆堂出版）監修者、『Challenge 英和辞典 カラー版』（ベネッセコーポレーション）編者。

この取り組みは、『未来の先生基金』の理念の実現に協力しています。